

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（1）基本目標

生徒の知・徳・体の調和のとれた成長を期し、豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きようとする生徒を育成する。

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

① 実力を養う

たくましい体力と何事にもくじけぬ強い精神力(耐性)を養い、自ら学習しようとする意志力をもつ生徒を育てる。

② 友愛を深める

礼を重んじ、友情を育て、深め、思いやりのある生徒を育てる。

③ 品性を高める

人格向上を目指して自己を磨き、豊かな心をもつ生徒を育てる。

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

（1）「魅力ある学校」（感動ある学校、学び合う学校）

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の授業実践 ② 感動的な学校行事の推進 ③ 言語活動と読書活動の推進
④ 人権意識の涵養と規範意識の醸成 ⑤ 保護者との連携強化

（2）「地域とともにある学校」（カリキュラムマネジメント）

- ① 地域教育力の活用 ② 地域行事への生徒の参加・協力の推進
③ 「宇都宮の良さ」「河内地区の良さ」を発信し、考えさせる指導の充実
④ 地域ボランティア活動への参加 ⑤ 学校の教育活動の地域への情報発信

（3）「やりがいのある学校」

- ① 協働する教職員組織の構築 ② 教職員の授業力の向上と生徒の学力の向上
③ 教職員の服務規律の確保 ④ 教職員の業務（働き方）の改善

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）確かな学力の育成

- ① 授業研究の日常化・活性化（校内研修・一人1授業公開・地域学校園全体研修）
○② 「考える力を育む言語活動の充実」（学校課題）
③ 情報活用能力を育成する教育の充実（GIGAスクール構想の実現）
④ 郷土への愛情を育む学習の推進（「宇都宮学」・「道徳科地域教材」の実施）
⑤ 家庭学習の充実（タブレット端末の利用・AI型個別学習ドリルの有効活用）

（2）豊かな心の育成

- ① 「特別の教科 道徳」（考える道徳・議論する道徳）の充実 ② 読書に親しむ態度の育成
○③ あいさつ、返事、言葉遣いの指導 ④ 「いじめ防止基本方針（改訂版）」の着実な運用
⑤ 感動体験を重視した学校行事の充実（運動会・合唱コンクール・校内マラソン大会等）

（3）健康・体力の向上

- ① 健康的な生活を送るための指導の充実 ② 新体力テストの結果を活用した教科体育の充実
③ 縦割りによる運動会の実施 ④ 安全に配慮した校内マラソン大会の実施
⑤ 自他の安全を守る能力の育成（避難訓練・安全集会・感染症防止等）

（4）インクルーシブ教育及び個に応じた指導の充実

- ① 障がいに対する理解・研修及び合理的配慮への取組
② いじめや不登校の未然防止、早期対応、組織的な対応
（Q-Uの活用・SC・MSとの連携・関係機関との連携・家庭との連携）
③ 配慮を要する生徒への、かがやきルームの効果的活用と別室登校支援の充実

（5）学校における教職員の働き方改革の推進

- ① 多様な専門スタッフと連携したチーム力の向上 ② 月1回以上のリフレッシュデーの設定
③ 学校業務の効率化と勤務時間の管理 ④ 部活動指導体制の見直し
⑤ 学校行事の見直しと実施に向けた練習・準備等のスリム化

(6) 地域とともにある学校づくりの推進（カリキュラムマネジメント）

- ① 宮・未来キャリア教育の推進及び地域人材の活用（ふれあい文化教室・福祉教育・キャリア教育・健康教育）
- ② 地域協議会との連携
 - ・ 地区体育祭，文化祭等への参加協力
 - ・ 書写指導，図書館，花壇整備等における地域ボランティアの活用
 - ・ 「地域未来塾」（放課後学習支援活動）への参加呼びかけ
- ③ 「学校マネジメントシステム」の中間期評価の実施と活用
- ④ 学校だより・学年だよりやホームページ等を通しての積極的な情報発信

[河内地域学校園教育ビジョン]

『すこやか河内 ～小中一貫教育を通して，子どもたちの心身の健やかな成長を目指します～』

4 教育課程編成の方針

- (1) 関連する法令，栃木県教育振興基本計画，宇都宮市学校教育推進計画に従い，本校教育目標が達成できるように全職員の理解と協力により編成する。
- (2) 地域や生徒の実態，学校の施設設備，職員組織を考慮し，必修教科，特別の教科道徳，総合的な学習の時間及び特別活動（学級活動，生徒会活動，学校行事）の調和を図って編成する。
- (3) 基礎的・基本的な内容の指導の徹底，個性を生かす教育の充実，自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる能力の育成を図り，生涯教育の基礎を培うことを目標に編成する。
- (4) あらゆる教育活動の場面で，「学び合い・喜び合い・励まし合う」活動内容や場を設定し，生徒同士や教職員および地域の人々との交流を深めながら，3あい運動の深化・拡充を目指し編成する。
- (5) 学校の教育活動全体を通じて，体力の向上や健康の増進を図るため体育的活動を積極的に行い，健康で安全な生活を送るための基盤となるよう編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営
 - ① 「魅力ある学校」づくり
 - ③ 計画的な小中一貫教育の推進
 - ② 感動的な学校行事の推進
 - ④ 教職員の働き方の改善
- (2) 学習指導
 - ① 学力調査等を活用した共通実践
 - ③ 学校園授業コンセプトの定着・充実
 - ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - ④ 言語力の基礎の徹底
- (3) 生徒指導
 - ① 「特別の教科 道徳」の充実
 - ③ 正しい言動で自分を表現できる生徒の育成
 - ② 体験活動・読書活動の充実
 - ～元気なあいさつ，さわやかな言葉遣いと身だしなみ，素直な「ごめんなさい」～
- (4) 健康（体力・保健・食・安全）
 - ① 『健康増進・体力向上の基本的な知識を身に付け，自分の身体の状態を理解し，体力向上に励む生徒の育成』
 - ② 運動に親しむための体力づくり
 - ③ 望ましい食習慣の形成
 - ④ 生徒の健康・安全を第一に考えた，学校生活や学校行事等の計画・運営（感染症対策等）

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には, A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

| 第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策 | 評価項目 | 主な具体的な取組 | 方向性 | 評価 |
|---|---|--|-----|--|
| 1- (1) 確かな学力を育む教育の推進 | A 1 生徒は, 他者と協力したり, 必要な情報を集めたりして考えるなど, 主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 85%以上 | ○①主体的, 対話的に授業に取り組む生徒の育成を目指して, 「考える力を育む言語活動の充実」を図る。 ② 方法や形態等の工夫を図り, 言語活動の場면을効果的に取り入れた授業を行う。 | B | 【達成状況】 教職員の肯定的回答は 92.9%で, 目標指標を 7.9 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ○「考える力を育む言語活動の充実」を効果的に図ることのできる場面, 方法を研究し, 主体的, 対話的に学ぶ生徒の育成を推進する。 |
| 1- (2) 豊かな心を育む教育の推進 | A 2 生徒は, 思いやりの心をもっている。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 85%以上 | ① 「特別の教科 道徳」の授業改善に取り組む, 生徒の道徳性を高める。 ② 温かな人間関係を基盤とした学級経営を推進する。 | B | 【達成状況】 生徒の肯定的回答は 92.5%で, 目標指標を 7.5 ポイント上回った。 【次年度の方針】 生徒同士, 生徒と学級担任の温かな人間関係を育成する学級経営に日々取り組むとともに, 「特別の教科 道徳」の効果的な授業実践により生徒の道徳性の向上を目指す。 |
| | A 3 生徒は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 80%以上 | ① 生徒が興味や関心をもって学習に取り組む課題設定についての授業研究を推進する。 ② 運動会や合唱コンクールに, 学級や団で協力して取り組ませ, 達成する喜びを感じさせる。 | B | 【達成状況】 生徒の肯定的回答は 83.2%で, 目標指標を 3.2 ポイント上回った。 【次年度の方針】 学習, 学校行事等, あらゆる活動において目標を明確にし, 達成に向けて具体的な取組の工夫改善を図る。 |
| 1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進 | A 4 生徒は, 健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 90%以上 | ① 感染症に対する予防策を考え, 実践することで, 自他の健康を守る。 ② 交通安全教室や, 避難訓練, 日常の巡回指導での声かけを通じて, 安全に生活することの大切さを意識付ける。 ③ 教科・領域との関連を図り, 食育を推進する。 | B | 【達成状況】 教職員の肯定的回答は 100%で, 目標指標を 10.0 ポイント上回った。 【次年度の方針】 教科・領域と食育のつながりについて改めて確認し, 効果的に食育を実践する。交通安全, 避難訓練, 感染症予防等について, 継続的に啓発活動を行う。 |
| 1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進 | A 5 生徒は, 自分のよさや成長を実感し, 協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 80%以上 | ① キャリアパスポートの記入や宮っ子ダイアリーを通して, 客観的に自分のよさや成長を見つめるとともに, 互いの意見を認め合うことで, 自己肯定感を高める。 ② 協力して生活をよりよくするために, 学級活動等で話し合い活動を充実させる。 | B | 【達成状況】 生徒の肯定的回答は 86.9%で, 目標指標を 6.9 ポイント上回った。 【次年度の方針】 振り返りの積み重ねを通して自分のよさに気づかせ, 自己肯定感を高めさせる。学級における話し合いの場において, 互いの意見を尊重し合う姿勢を育成し, 話し合い活動の充実を図る。 |
| 2- (1) グローバル社会に主体的に向き合い, 郷土愛を醸成する教育の推進 | A 6 生徒は, 英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 70%以上 | ① A L T との交流の場면을意図的に設定し, 積極的に会話するよう生徒に働きかける。 ② インターナショナルボードを充実させたり, 生徒会活動で, 国際交流に関する内容を積極的に取り上げたりする。 | B | 【達成状況】 生徒の肯定的回答は 75.1%で, 目標指標を 5.1 ポイント上回った。 【次年度の方針】 インターナショナルボードの更なる充実および周知等により, 生徒と A L T の積極的な交流を促す。生徒会活動で, 国際交流に関する内容を取り上げる場面を模索する。 |

| | | | | |
|-------------------------------------|---|---|--|---|
| | <p>A7 児童生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 80%以上</p> | <p>① 宇都宮学の授業を充実させ、宇都宮のよさを知らせる。 ② 道徳科の授業で、郷土の良さについて改めて考える機会をもつ。 ③ 学校だより、学年だより等で宇都宮のよさについて積極的に取り上げる。</p> | <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 85.7%で、目標指標を 5.7 ポイント上回った。 【次年度の方針】 宇都宮学を通して郷土宇都宮のよさを学ぶとともに、道徳の授業等で郷土愛を高めさせる。また、宇都宮のよさを各種たより等で発信し、生徒、保護者、地域と共有する。</p> | B |
| 2-(2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進 | <p>A8 生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p> | <p>① デジタル教科書やタブレット等の ICT 機器を授業で積極的に利用する。 ② 総合の調べ学習等、図書室を授業で積極的に利用する。</p> | <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 100%で、目標指標を 10.0 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ICT 機器の適切な活用について研究し、効果的に利用するよう努める。また、図書資料のよさ、活用の場面について確認し、ICT 機器との併用に努める。</p> | A |
| 2-(3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育てる教育の推進 | <p>A9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 70%以上</p> | <p>① 生徒会活動で、リサイクルに関する内容を積極的に取り入れる。 ② 地域協議会の協力を得て、学校の緑化や環境保全活動を積極的に展開する。</p> | <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 75.4%で、目標指標を 5.4 ポイント上回った。 【次年度の方針】 SDGs 目標 12「つくる責任、つかう責任」について考えさせ、生徒会として可能なリサイクル活動を展開する。花壇整備を中心に学校の緑化に努める。</p> | C |
| 3-(1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進 | <p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p> | <p>① 校内支援委員会、教育相談係会、生徒指導係会の情報を全職員で共有し、生徒の支援に生かせるようにする。 ② かがやきルーム担当と教科担任が連携を密にし、効果的な支援が行えるようにする。 ③ スクールカウンセラー、外部機関等との連携を図り、保護者への支援にも努める。</p> | <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 100%で、目標指標を 15.0 ポイント上回った。 【次年度の方針】 校内組織の適切な運営に加え、スクールカウンセラー、外部機関等との連携を密にし、生徒および保護者への支援の充実を図る。</p> | B |
| 3-(2) いじめ・不登校対策の充実 | <p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 ⇒生徒の肯定的回答 90%以上</p> | <p>① いじめゼロ集会やスマホ等の適正な使い方など、いじめ根絶を図る指導を継続的に行い、その取組を学校だよりや生徒指導だよりなどにより情報提供することで、家庭との連携、協力を図る。 ② 教育相談を計画的に行うほか、アンケート調査を実施し、いじめの早期発見に努める。</p> | <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 96.0%で、目標指標を 6.0 ポイント上回った。 【次年度の方針】 教育相談、アンケート調査の実施や日常の観察により、いじめの早期発見に努め、根絶に向けて継続的に指導を行う。各種たよりによる情報発信を通して、家庭、地域との連携、協力を図る。</p> | B |
| | <p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 85%以上</p> | <p>① 生徒一人一人のよさに目を向け、認め伸ばす指導をする。 ② 教育相談係会での検討を基に、生徒一人一人の状況にあった支援に努める。</p> | <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 95.6%で、目標指標を 10.6 ポイント上回った。 【次年度の方針】 教育相談係会等における情報共有、支援の方向性の確認をもとに、全教職員で支援、指導を行う。教育相談室(ステップ)の積極的な活用へ向けて運営方法等の改善を図る。</p> | A |

| | | | |
|---|---|--|---|
| <p>3- (3) 外国人児童 生徒等への 適応支援の 充実</p> <p>3- (4) 多様な教育 的ニーズへの 対応の強化</p> | <p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 90%以上</p> | <p>① 一人一係活動を実践するなど一人一人を大切に、温かい雰囲気での学級経営に努める。 ② 前年度までの実績や反省等を踏まえ、生徒会活動と各種学校行事の活性化を図り、生徒の自主的・継続的な活動を推進する。</p> | <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 93.5%で、目標指標を 3.5 ポイント上回った。 【次年度の方針】 生徒一人一人の役割、活動の様子を互いに認め合う環境づくりに努め、温かく協力的な集団を育成する。</p> |
| <p>4- (1) 教職員の資 質・能力の 向上</p> | <p>A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 85%以上</p> | <p>① 「一人1授業」等の研修により授業力向上に努め、個に応じた指導、分かる授業、楽しい授業を展開する。 ② 部活動休養日や、週末の学習課題を工夫することにより家庭学習を習慣化させ、基礎学力の定着に努める。 ③ 地域協議会との連携により、「地域未来塾」の効果的な運用を図る。</p> | <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 92.2%で、目標指標を 7.2 ポイント上回った。 【次年度の方針】 「一人1授業」等の研修による授業力向上、日頃の情報交換による授業の工夫改善を実践する。効果的な家庭学習へ向けた支援や地域未来塾の適切な運用を図る。</p> |
| <p>4- (2) チーム力の 向上</p> | <p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 75%以上</p> | <p>① 教職員全員が教育目標や、学校経営の重点を意識し、目標をもって業務にあたる。 ② スクールカウンセラー等の専門スタッフとの積極的な連携を推進する。</p> | <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 78.6%で、目標指標を 3.6 ポイント上回った。 【次年度の方針】 学校経営計画に基づいた教育活動の実践について、全教職員が一丸となって取り組む。</p> |
| <p>4- (3) 学校における 働き方改革の 推進</p> | <p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 65%以上</p> | <p>① 文書やデータの管理方法を改善し、前年度の資料を基に業務を行えるようにする。 ② 行事内容の精選や、会議の効率化を推進する。 ③ 働き方改革に伴う取組について、地域や保護者に対し、理解・協力を求める。</p> | <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 89.3%で、目標指標を 24.3 ポイント上回った。 【次年度の方針】 行事内容の精選を積極的かつ慎重に行う。ホームページやさくら連絡網の活用、部活動の運営等、働き方改革に伴う取組を促進する。</p> |
| <p>5- (1) 全市的な学校 運営・教育活動 の充実</p> | <p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p> | <p>○①地域学校園研修や各部会・教科部会等を定期的実施し、計画的に推進する。 ○②「小中一貫教育だより」や「学校だより」等による情報発信に努め、保護者や地域への周知を図る。</p> | <p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は 86.3%で、目標指標を 6.3 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ○地域学校園研修や各部会・教科部会等の実施回数や活動内容の見直しを図る。保護者や地域への情報発信を工夫する。</p> |
| <p>5- (2) 主体性と独自 性を生かした 学校経営の 推進</p> <p>5- (3) 地域と連携・ 協働した学校 づくりの推進</p> | <p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p> | <p>① P T A 活動の活性化を図る。 ② ホームページの内容の充実を図り、地域・家庭への情報発信力を高め、開かれた学校づくりを推進する。</p> | <p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は 85.0%で、目標指標を 5.0 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ホームページの内容の整理を行い、分かりやすく情報を発信するよう努める。</p> |
| <p>6- (1) 安全で快適な 学校施設整備 の推進</p> | <p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p> | <p>① 月例安全点検や、校内巡回を通じて危険個所の早期発見、対処に努める。</p> | <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 92.9%で、目標指標を 2.9 ポイント上回った。 【次年度の方針】 安全点検を確実に、速やかに修繕する。特に老朽化した部分に注意を払い、大規模な修繕は市と連携して進める。</p> |

| | | | |
|-------------------------------|--|--|---|
| <p>6-(2) 学校のデジタル化推進</p> | <p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p> | <p>① ICT支援員との連携を図るとともに、校内研修を行うことでタブレット端末の活用を推進する。 ② 校内のICT機器が効率よく使えるよう、利用法を工夫する。</p> | <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 92.9%で、目標指標を 7.9 ポイント上回った。 【次年度の方針】 タブレット端末の活用範囲の拡大に備え、ICT支援員との連携により教職員のスキルアップを図る。</p> |
| <p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p> | <p>B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p> | <p>○①全教育活動を通じて、明るくさわやかなあいさつができるように、全職員で指導を行う。 ○②小中一貫教育、学校交流連携促進部会との関連を図りながら、小中学校、地域ぐるみのあいさつ運動を展開する。</p> | <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 78.6%で、目標指標を 1.4 ポイント下回った。 【次年度の方針】 ○地域学校園あいさつ運動等を継続するとともに、活動を周知することで地域ぐるみのあいさつ運動を活性化させる。</p> |
| | <p>B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 85%以上</p> | <p>① ルールを守る、いじめをしないなど、人として大切なことを全教職員が、すべての活動の中でしっかりと指導する。 ○②小中一貫教育、学校生活・適応支援部会との連携を図りながら、小中で協力して指導していく。</p> | <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 95.6%で、目標指標を 10.6 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ルールの詳細を明確に示し、ルールやマナーを守る指導を、全教職員が共通理解のもとに行う。</p> |
| | <p>B3 生徒は、家庭学習にしっかりと取り組んでいる。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 80%以上</p> | <p>① 教科の宿題以外に、自主学习ノートを主体的に利用するなど、一日に2時間は家庭学習に励むよう指導する。 ○②小中一貫教育、学力向上部会と連携を図りながら、小中で協力して指導していく。</p> | <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 77.3%で、目標指標を 2.7 ポイント下回った。 【次年度の方針】 ○家庭学習の習慣化について小学校と連携を図った取組を実践する。</p> |
| | <p>B4 生徒は、学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p> | <p>① 生徒主体の学校行事や生徒会活動が実施できるよう、各担当者が意図的、計画的に生徒を指導する。 ② 活動実施後の振り返りを十分にを行い、次回の課題を明らかにして改善につながるようにする(PDCAサイクル)。</p> | <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 96.4%で、目標指標を 6.4 ポイント上回った。 【次年度の方針】 PDCAサイクルにより、活動内容の改善・充実を図るとともに、活動内容を整理しスリム化を目指す。</p> |
| | <p>B5 生徒は、緑化活動や清掃など、環境整備に熱心に取り組んでいる。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 80%以上</p> | <p>① 自問清掃への取組等、清掃活動を充実させる。 ② 教室の整理・整頓等、落ち着いた学習環境が維持できるよう、生徒に積極的に指導する。 ③ 学級単位で、落ち葉掃き、除草作業等の校内美化活動を行う。</p> | <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 77.3%で、目標指標を 2.7 ポイント下回った。 【次年度の方針】 全教職員共通理解のもと、清掃活動への取組の充実を図る。生徒会活動における校内緑化活動を充実させる。</p> |
| | <p>B6 生徒は、読書の習慣が身に付いている。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 75%以上</p> | <p>① 朝の読書を継続・充実させ、全校生徒に読書習慣を身に着けさせる。 ② 図書委員会の活動を活性化し、学校図書館の積極的利用を推進する。 ③ 保護者ボランティアによるブックトークを行う。</p> | <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 66.7%で、目標指標を 8.3 ポイント下回った。 【次年度の方針】 朝の読書や図書委員会によるブックトーク、ビブリオバトル等、読書啓発活動を継続して行う。保護者ボランティアによるブックトークの実施について、工夫改善を図る。</p> |

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・宇都宮市の共通評価項目である22の質問（A1～A20，B1～B2）において、対象者別（生徒・教職員・保護者・地域住民）に回答を集計した全63項目のうち、肯定的回答割合が80%を上回った項目は50項目（約79%、前年度は約81%）であり、本校の教育活動が全体として肯定的に受けとめられていると考えられる。また、市の平均を上回っている項目が33項目（約52%、昨年度は約28%）あることから、前年度よりも改善されており、良い傾向にあると言える。今後も本校教育目標の実現に向けて取り組みたい。
- ・「自己評価」である教職員評価では、学校独自の4項目を含めた全26項目中23項目（約88%）で肯定的回答割合が80%を上回っており、前年度と同様の結果であった。全職員で協力して取り組んだ成果が表れたと思われる。
- ・本校ならではの教育活動にあたるB3～B6の独自の質問においては、対象者別16項目のうち11項目（約69%）で肯定的回答割合が80%を上回っており、前年度と同様の結果であった。
- ・A15「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」の教職員の肯定的回答割合は昨年度75.0%で、一昨年度よりも5ポイント以上下回り課題であった。今年度は78.6%と3.6ポイント増加したものの、市の平均より13.4ポイント低く、引き続き課題となっている。チーム一丸となって取り組む姿勢を強めていきたい。
- ・A17「学校は、小中一貫教育・地域学校園の取組を行っている。」の肯定的回答割合は、生徒・教職員・保護者ともに昨年度を上回る結果となった。引き続き小学校との連携を密にし、地域学校園として児童生徒を育てていきたい。
- ・B1「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。」では生徒と教職員の間、B2「生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」では生徒と地域住民の間に回答の差が見られた。より高い水準の行動が求められていることを生徒に伝えるとともに、指導を継続していく必要がある。
- ・B3「生徒は、家庭学習にしっかりと取り組んでいる。」B6「生徒は、読書の習慣が身に付いている。」の肯定的回答割合は、生徒・教職員・保護者ともに昨年度を下回る結果となった。学習への取組について、支援を強化していく必要がある。

7 学校関係者評価

- ・全体的によくがんばっているという印象を受ける。
- ・教職員・生徒は数値の差はあるものの、方向性は一緒である。
- ・生徒の向かいたい方向性と先生の思い(方向性)はすべて同じなのか、すり合わせをしていく必要がある部分もある。
- ・保護者の思いと生徒・教職員の思いには多少違いが見受けられる。
- ・保護者の求める水準が高いのかもしれないが、学校の取組が保護者に届いていない可能性もある。PTAとして保護者に届くようにしていきたい。
- ・保護者の評価は、自分の子どもを見てもっとがんばってほしいという思いから低い可能性もある。ほめて育てることも大切である。
- ・A3「粘り強く取り組んでいる」について、授業参観時の様子を見る限り、もう少し評価が高くてよいと思われるので、厳しく自己評価をしているのかもしれない。
- ・スマホ利用が低学年でも増加している。スマホはすぐに結論が出て簡単に答えが得られるので、学校では、考えることを重視してほしい。
- ・A11, A12「いじめ問題・不登校」の保護者の評価が毎年低い。保護者への周知について考えたい。
- ・保護者として、学校生活の様子があまりわからないというのがある。A11,A12,A13の保護者の肯定割合は低いが、生徒・教職員共に高いということは、保護者にとってその事実安心する部分がある。
- ・きまりやマナーを守っている生徒が多いことはよい傾向である。
- ・B2「マナーを守って生活している」の地域住民の評価が低いのは、自転車のマナーが悪いからかもしれない。
- ・B3「家庭学習にしっかりと取り組んでいる」について、保護者の評価が低い。保護者の関わり方、協力も大切である。
- ・B6「読書の習慣が身に付いている」について、電子機器で読んでいる生徒もいるのではないかと思う。
- ・B6「読書の習慣が身に付いている」について、部活動や習い事などで家庭では読書の時間が取れない現状がある。また、保護者は家で様子だけを見て低評価なのかもしれない。読むこと・書くことはとても大切なことなので、朝の読書活動を今後も続けてほしい。また、親も一緒に取り組んでいくことも大切だと感じる。
- ・共働きの家庭が増えているため、家庭での教育も厳しくなり子どもが孤立している。岡本駅前が始まった『子どもの居場所づくり』には不登校生が来ている。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・本校の教育活動は全体として肯定的に受けとめられている。また、前年度よりも改善されている部分もあり、良い傾向にあると言える。次年度、教育目標の実現に向けて取組を更に強化したい。
- ・教職員評価には全職員で協力して取り組んだ成果が一部表れた。次年度、教育目標の実現に向けた取組を充実させるとともに、働き方改革もあわせて推進する。
- ・A15「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」の教職員の肯定的回答割合の低さが引き続き課題となっている。生徒の望ましい成長のために、学校経営の方針に従い、チーム一丸となって取り組む必要がある。
- A17「学校は、小中一貫教育・地域学校園の取組を行っている。」の肯定的回答割合は昨年度を上回る結果となり、良い傾向にある。引き続き小学校との連携を密にし、地域学校園として児童生徒を育てていきたい。
- ・B2「生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」では生徒と地域住民の間に回答の差が見られた。自転車の乗り方のマナーなど、学校外の生徒の様子に課題が見られる。地域(社会)の一員としての自覚と命の大切さについて次年度も引き続き指導を行う。
- ・B6「生徒は、読書の習慣が身に付いている。」の肯定的回答割合は、昨年度を下回る結果となった。電子機器で読んでいる生徒、部活動や習い事などで家庭では読書の時間が取れない生徒など様々な現状もあるが、学校における朝の読書の継続、学校図書館の充実、読書の啓発活動に加え、保護者と一緒に取り組む活動についても検討していきたい。